

月17日

小臣事、無量の

天恩を蒙り、殊に殿下の

懇命に預ること亦不浅、実に

感佩する処に候、然るに今日に

至、恐縮の至に不堪候得共、

奉職の目的難相立、辞表

差出候、暗愚にして漫汚

重任 候儀、今更赧顔至極

に御座候間、今日の事、何様の

御沙汰を拝承仕候ても、断然

決心候付、速に御放免

被下候様万祈 仕候、乍去、

国家の事、度外に置候

心事毛頭無御座候間、

若禍端相開候はゞ、兵卒

とも相成、一死を以、万分

の一を報し度たきびちゆう微衷に付、

其節に臨み候はごすいれん御垂憐

を賜り候様、今よりねがいたてまつり奉願置候、

必ず進んで御依頼可奉もうしあげ

申上候、誠惶々々、たてまつるべく

十月十七日 利通

実美公閣下

尚々、過日、被下候御書取、くだされ

乍憚返上仕候付、御落手はばかりながら

可被仰付候おおせつけられるべく